スーパーフラットヒーター

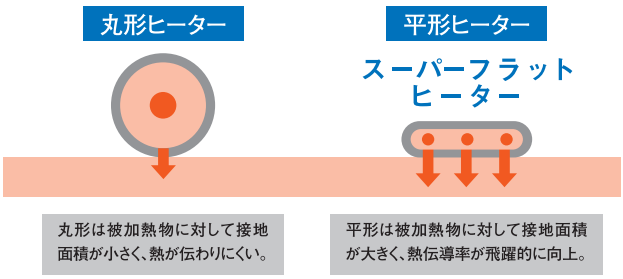
「スーパーフラットヒーター」は、さまざまな形状が製作可能です。
この機会に「丸形ヒーター」から「スーパーフラットヒーター」に変更してみませんか?

特長

・単独で3相電源使用可能
・気体・液体の両用性
・表面積が広く、抜群の熱効率

用途

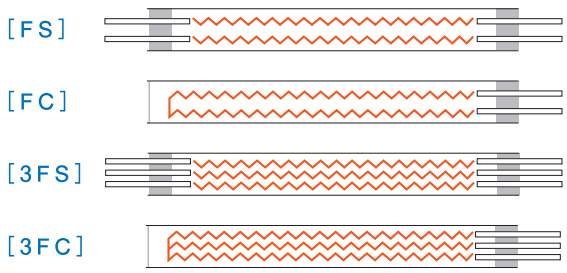
・厨房機器のフライヤーはもちろんのこと、気体・液体・固体加熱で、抜群の面接触を実現し、多岐に渡って応用が可能です。(金型加熱やホットプレートなど)



丸形は被加熱物に対して接地面積が小さく、熱が伝わりにくい。

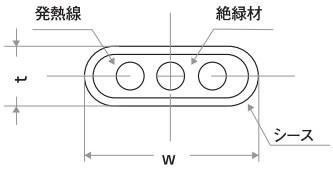
平形は被加熱物に対して接地面積が大きく、熱伝導率が飛躍的に向上。

構造図



※フライヤー装置の仕様に合わせた色々な電源接続方式の選定が可能です。

標準寸法



	幅(w)×厚み(t)	長さ(L)	シース材質
FS	24.1mm×6.9mm	MAX 5,500mm	SUS316L
FC			
3FS			
3FC			

曲げR制約

・標準曲げRt面(横) R17
・標準曲げRw面(立ち上がり) R27

フライヤー用スーパーフラットヒーター

1 ヒーター本数と結線作業を削減できます。

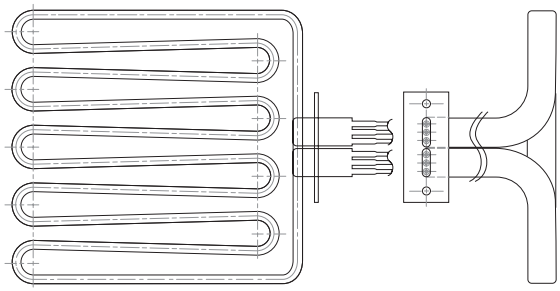
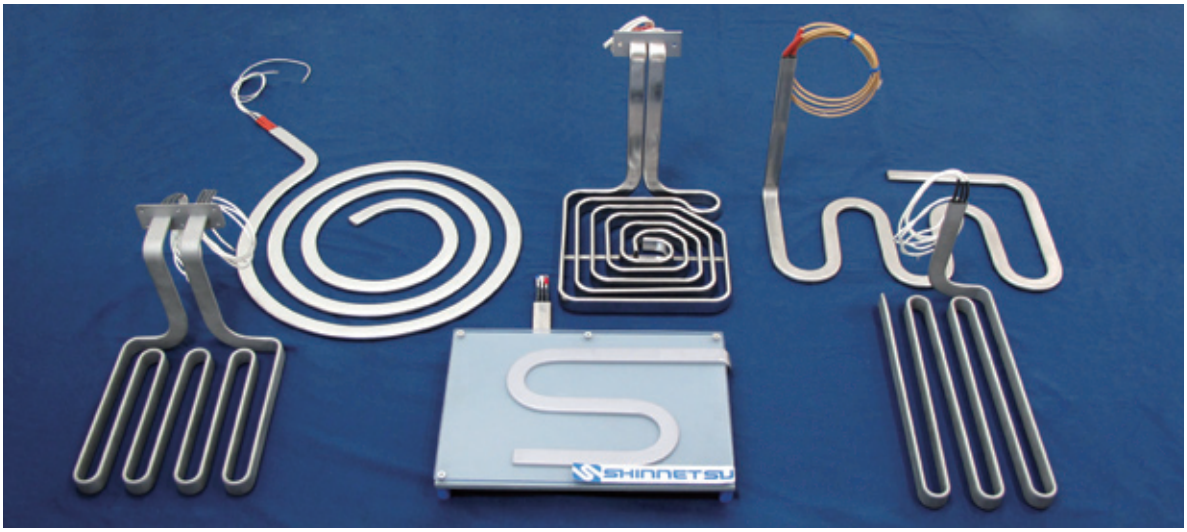
3相電源では、ヒーター本数を1／3に削減、結線作業を1／2に削減できます。
スーパーフラットヒーターは1本のヒーターで3相電源への直接接続が可能です。

	シーズヒーター	スーパーフラットヒーター
ヒーター本数	3本 （3の倍数が必要）	1本
リード線本数	6本	3本 （内部Y結線タイプ）

2 メンテナンス性が抜群に向上します。

薄い面を立てて曲げることにより、丸形のシーズヒーターより揚げカスが堆積しづらい形状です。
掃除がしやすく、クリーンなフライヤーを実現できます。

3 油の劣化を防ぐ スーパーフラットヒーター

特殊形状（平形）で厚みが薄いため、従来の丸形シーズヒーターより小さなRで曲げることが可能になり狭い空間に大きな発熱面積をとることが可能になります。このため従来の丸形シーズヒーターよりも電力密度を下げることが可能になり、ヒーター表面の急激な温度上昇を抑えハイパワーでありながらクリーンなフライヤーを実現できます。

フライヤー用 スーパーフラットヒーター形状例